

## 「第5次久留米市子どもの読書活動推進計画（案）」 に対するパブリック・コメントの結果について

「第5次久留米市子どもの読書活動推進計画（案）」に対する意見募集（パブリック・コメント）の結果及び意見に対する対応がまとまりましたのでご報告いたします。

なお、意見の内容につきましては、原文を一部要約しております。

### 1 パブリック・コメントの概要

#### (1) 意見募集期間

令和8年1月6日（火）～2月4日（水）

#### (2) 閲覧場所

中央図書館、本庁地下1階行政資料コーナーほか

#### (3) 提出方法

氏名、連絡先、意見を明記のうえ、インターネット（電子申請）等で提出

#### (4) 周知方法

市のホームページ及び広報久留米（1月号）に掲載

### 2 意見募集の結果

方法	人数・団体数	件数
インターネット（電子申請）	4（個人）・1（団体）	9件
持参	1（個人）	1件
合計	5（個人）・1（団体）	10件

### 3 意見への対応

区分	件数
意見の趣旨に基づいて原案を修正するもの	3件
意見に対して原案を修正しないもの	1件
提案や要望等	6件
合計	10件

### 4 意見の概要と対応の考え方

別紙のとおり

第5次子どもの読書活動推進計画（案）に対する意見の概要と対応の考え方

別紙

No	頁	章	項目	意見の概要	区分	対応の考え方
1	P22 P24 P25	第2章	6 (1) 発達段階に応じた方策の方向性 6 (2) 3) ①読書推進と読書環境の整備 6 (2) 4) ②子どもの読書活動推進	小学校や図書館で、幼児から小学生高学年まで、読み聞かせを取り入れたらどうでしょうか。 また、小学校で高学年児童が下級生に読み聞かせする機会があったら、高学年児童が図書室の本を選択し本を読む練習することで、本に対する興味・感心が出るかもしれません。 下級生にとっては、上級生から読み聞かせということで、喜ぶと思います。	提案・要望	図書館では、子どもの発達段階に合わせて、赤ちゃん向け・2～3歳児向け・小学生を含む子ども全般向けのおはなし会などの定期的な実施を、原案に記載しています。 (読み聞かせの重要性はP22に記載) 学校では、図書委員による読み聞かせや校内放送等、工夫を凝らした取組を行っています。 ご意見については、具体的な読み聞かせの手法の一つとして参考にさせていただきます。
2	P24	第2章	6 (2) 3) ①読書推進と読書環境の整備	第2章 4計画の目標とする数値等 P24 3) 学校 1読書推進と読書環境の整備 L13 「・・・3つの機能を柱に学校教育の中で図書館事業は重要な役割を果たしていきます」に変更。	原案を修正	記載にわかりにくい部分がありましたので、ご意見を踏まえ、3)学校①読書推進と読書環境の整備の13～15行目を、次のとおり修正します。 【修正前】 児童生徒が落ち着いて読書を行うことができる、安らぎのある環境や知的好奇心を醸成する学びの場としての環境を整え、「読書センター」「学習センター」「情報センター」の3つの機能を柱に学校教育における重要な役割を果たしていきます。 【修正後】 また、学校図書館は「読書センター」「学習センター」「情報センター」の3つの機能を柱に、児童生徒が落ち着いて読書を行うことができる安らぎのある場や知的好奇心を醸成する学びの場として、重要な役割を果たしていきます。

第5次子どもの読書活動推進計画（案）に対する意見の概要と対応の考え方

別紙

No	頁	章	項目	意見の概要	区分	対応の考え方
3	P25	第2章	6 (2) 4) ②子どもの読書活動推進	P25 2子どもの読書活動の推進 L9 「・・・心に残る本と出合えるよう」のあとに「読み聞かせなどの本の選定も支援します。」を挿入。	原案を修正	ご意見を踏まえ、「読み聞かせなどの本の選定の支援」については、②子どもの読書活動推進の14～16行目を、次のとおり修正します。 【修正前】 保護者や子どもの読書に関わる大人に向けては、児童文学講演会や子どもの本に関する情報交換事業などを実施し、子どもの読書活動への理解を深めるきっかけづくりを行います。 【修正後】 保護者や子どもの読書に関わる大人に向けては、 <u>読み聞かせなどの本の選定を支援するとともに</u> 、児童文学講演会や子どもの本に関する情報交換事業などを実施し、子どもの読書活動への理解を深めるきっかけづくりを行います。
4	P25 P29 P30	第2章	6 (2) 4) ②子どもの読書活動推進  7 具体的な施策内容 4 図書館 No.32、33	図書館など、久留米市内でビブリオバトルや読書会のようなイベントを開催して欲しいです。「〇〇を読む会」のように企画があると参加しやすく、読書に参入しやすいです。イベントを開催する場合、なるべく参加費用などもかからず、かかる場合もお小遣いで軽く行ける範囲で行けたらいいなと思います。 1人だどつついあとしようとしてしまったりするので、そうしたイベントの場で、同年代の人と読む機会があればいいのかなと思います。同年代の人が読んでいることを知って、影響を受けて自分も読んだりする影響もあるんじゃないかと思います。 また、メンタルヘルス系の本の高校生・中学生向けの本も読んでみたいので、そうした本もこの読書活動の推進で広まれば嬉しいなと思います。	提案・要望	図書館では、ビブリオバトルやビブリオトーク、ボードゲームを用いた読書交流イベントなどの実施を、原案に記載しています。図書館の様々なイベントなどは、無料で実施しています。 ご意見については、今後、子どもの読書活動推進施策に取り組むうえで参考とさせていただきます。

第5次子どもの読書活動推進計画（案）に対する意見の概要と対応の考え方

別紙

No	頁	章	項目	意見の概要	区分	対応の考え方
5	P25 P29 P30	第2章	6 (2) 4) ③デジタル社会に対応した取組  7具体的な施策内容 ④図書館No.21	図書館・図書室の電子書籍の導入は最低限にしてください。 (理由) P19総括に紙書籍ならではの体験や紙書籍の特性の記載は同感しました。 デジタル社会の対応は認めますが、子どもにたいしては配慮が必要です。 スマートフォンやタブレットなどの普及により児童・生徒の実態は、活字ばなれという大きな課題がでてきています。さらにスマホ・タブレットの依存度は大きくなりスマホ中毒やいじめという問題行動が家庭だけでなく学校でも出現しています。オーストラリアでは子どもへのSNS規制、また、学校でのスマートフォン使用を禁止している国は、フランス、イタリア、オランダ、シンガポール、ブラジルなど複数存在します。これらの国々では、スマートフォンの使用が学業成績の低下や子どもの精神的健康に悪影響を及ぼすという懸念から禁止・制限をしているのです。特に、IT先進国では学校内での使用を制限または禁止する動きが広がっています。日本はその先進国の動向を注視すべきです。 図書館・図書室では、電子書籍の導入は最低限にしてください。	提案・要望	電子図書館サービスの利用促進にあたっては、子どもたちの健康や発達段階等に配慮してまいります。
6	P27	第2章	6 (3) 5) 第5次計画の周知と子どもの意見の反映	P27 5) 第5次計画の周知と子どもの意見の反映 L4 「・・・子どもの意見を」のあとに「尊重し」を挿入し、「…子どもの意見を尊重し、子ども政策に反映・・・」とする。	原案を修正	ご意見を踏まえ、5) 第5次計画の周知と子どもの意見の反映の4～5行目を、次のとおり修正します。 【修正前】 子どもの最善の利益を実現するため、子どもの意見を子ども政策に反映させることが求められています。 【修正後】 子どもの最善の利益を実現するため、子どもの意見を尊重し、子ども政策に反映させることが求められています。
7	P28	第2章	7具体的な施策内容 ①家庭・地域No.1	P28 7具体的な施策内容 ナンバー1ブックスタートの担当・所管に保健所を挿入	原案どおり	ブックスタートは、「中央図書館」と「こども子育てサポートセンター」が連携・協力して実施しているため、原案どおりの記述とします。
8	P29	第2章	7 具体的な施策内容 ③学校No.20 ④図書館No.23	家庭環境が大きく影響すると思います。家で本を読んでもらえなかったり、テレビやYouTubeやゲームで育てられた子供は、小学生になってもそれ以降もなかなか本を読みたいとは思えないと思います。なるとすれば友達の影響でしょうか。 読まない人に読ませるのは難しい。読んでいない人にもっと読んでもらう、読むのは嫌いじゃないけど図書館は利用していない人に利用してもらうのが現実的じゃないかと思います。 図書館で読みたい本がボロボロだったりすると読む気はなくなります。難しいかもしれませんが、あまりに汚い本は新しくすることも必要だと思います。 図書館に小学生や中学生がおすすめの本を書いているのを見ますが、あれを市内の学校に配布したりするのはどうでしょうか。学校の図書よりも費用面はあるでしょうけどカラーにするだけで少しは目を引くようになると思います。 図書館HPは重いです。続き物の本は次巻が表示されるようにして欲しいです。	提案・要望	第2章7具体的な施策内容のNo20に適切な図書の更新、No23に本の買替えの計画的な実施を記載しています。 小中学生のおすすめ本案内の学校への配布などのご意見については、今後、子どもの読書活動推進施策に取り組むうえで参考とさせていただきます。

第5 次子どもの読書活動推進計画（案）に対する意見の概要と対応の考え方

別紙

No	頁	章	項目	意見の概要	区分	対応の考え方
9	P29	第2章	7具体的な施策内容 4図書館No.22	<p>六ツ門図書館は利便性の高い立地にあり、子ども連れの親にとっても利用しやすい環境が整っている一方で、図書館の魅力やポテンシャルが十分に活かされていない印象を受けます。</p> <p>利用者の立場から見ると、以下の三つの課題があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現在の利用者数に対して閲覧席が少なく、落ち着いて本を読むための閲覧スペースが不足していること。</li> <li>2 子どもが本を読むためのスペースが手狭で、伸び伸びと本に親しめるスペースがないこと。</li> <li>3 図書館の存在が来館者や歩行者にとって分かりづらいこと。</li> </ol> <p>まず1、2の課題を解決するために、閲覧コーナーの拡張の検討。現在子どもの本が配置されているスペースを閲覧コーナーとして拡張し、隣接するギャラリーを別の階へ移動させた上で、そのギャラリー跡地に子どもの本コーナーおよび、より広く充実した読み聞かせスペースを設ける案を提案します。このような配置とすることで、閲覧席の増設が可能となるだけでなく、同一フロアにある児童館と子どもの本コーナーが一体的につながり、子どもや親子にとって、より利用しやすい図書館空間になると考えます。</p> <p>利用者の立場から見ると、ギャラリーについては図書館と隣接している必然性をあまり感じられない一方で、来場者数に対して比較的広い面積が確保されており、空間の使い方としてはややもったいなく感じる部分もあります。ギャラリーが図書館に隣接していることで管理面での利点があることは理解できますが、配置や面積配分を見直すことで、図書館の閲覧、滞在機能を充実させることができるのではないのでしょうか。</p> <p>また、現在の読み聞かせコーナーについては簡素な印象を受けます。ギャラリー跡地に本に囲まれた落ち着いた雰囲気のある読み聞かせ空間を整備することで、子どもたちが本に親しむ体験の質をより高めることができるのではないのでしょうか。さらに、児童館から読み聞かせコーナーへ、靴を履き替えることなく行き来できるような動線とすることで、子どもたちが自然に本に触れられる環境づくりにつながるかと考えます。</p> <p>3の課題の解決策として、図書館がビル内に入っていることが分かるような屋外サインの設置についてもご検討いただきたいです。現在、建物南側外壁の上部にサインが設置されていますが、歩行者からは視認しづらいです。六ツ門アーケード側からの歩行者にも分かりやすい位置に図書館のサインを大体的に設けることで、来館のきっかけづくりにつながるのではないのでしょうか。</p> <p>児童館と図書館が隣接しているという立地の強みを、周辺環境も踏まえて最大限に活かすことで、六ツ門図書館はより魅力的な公共図書館になると考えています。</p>	提案・要望	ご意見については、今後、子どもの読書環境の整備に取り組むうえで参考とさせていただきます。
10	P28 P29 P30	第2章	7 具体的な施策内容	<p>読書活動の推進、読書習慣の定着・促進の観点として、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①読書手帳の配布推進をしてほしい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・手帳はこども用であるが、手帳を記入することで「目標達成」を実感でき、読書の励みになるため、成人にも配布してもらいたい。</li> </ul> </li> <li>②「えほん」の読書活動の推進をお願いしたい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人の私は、遠くの、また高い目標を求めて読書をしてきた。「えほん」は2歳から100歳まで読める本であり、目の前の、又足元の、人として大切なことの気づかせてくれている。気持ちを楽にして読めて、クスッと笑うことができて生活（気持ち）をリフレッシュしてくれる。</li> </ul> </li> </ol>	提案・要望	<ol style="list-style-type: none"> <li>①読書手帳の配布推進については、今後の参考とさせていただきます。</li> <li>②絵本に関する読書活動の推進については、第2章7具体的な施策内容に、様々な取組を行うことを記載しています。</li> </ol>